

# あいちの印刷

9

2022.9  
No.610



富岩運河環水公園(富山市湊入船町)

## もくじ

- 巻頭言「教育委員会事業への積極的な参加のお願い」 … 3
- 印刷営業社員のスキルアップ「印刷営業士」資格取得 …… 4
- 「印刷営業技能審査認定制度」の案内 …………… 5
- 令和4年「印刷営業講座」日程とカリキュラム…………… 6
- 「印刷物ご発注に関するお願い」 …………… 8
- 「2023愛知環境賞」および第5回「あいちサービス大賞」  
募集の案内 …………… 9
- 低濃度PCB汚染対策について  
低濃度PCBに汚染された電気機器などの処分 ……………10
- 中小企業庁  
ポータルサイト「みらデジ、オープン」 ……………12
- 日印産連「印刷産業とSDGs」開設 ……………12
- 「IGAS2022」最新情報 ……………13
- 全印工連:「CSRサミット2022」  
SDGsを企業経営にどう生かすか ……………14
- 光文堂「最新製本省力化機材展」 ……………14
- 全印工連:CSR認定  
第39期ワンスター認定募集 ……………14
- 編集だより……………14

人に 社会に 想いを カタチに

**O//O** 愛知県印刷工業組合

**FUJIFILM**  
Value from Innovation

成長は、「省資源」から。

もっと強く、もっと付加価値の高い印刷ビジネスを実現するために  
富士フィルムは提案します—— 成長は、「省資源」から。

材料・工数・水・エネルギー・排出、

これまでの「コスト」を減らし利益に還元。

製版・印刷工程を軸にした、

独自のソリューション「FUJIFILM SUPERIA」が

あなたの会社をどこよりも強いものへ変えていきます。

**FFGSは、戦略的『省資源』で、  
トータルコストダウンを支援いたします。**

FUJIFILM

「減らす」がつくる、クオリティ

**SUPERIA**

富士フィルム グローバルグラフィックシステムズ株式会社 中部支社 〒460-8404 名古屋市中区栄一丁目12番17号 富士フィルム名古屋ビル 052(201)8171 ホームページ <http://ffgs.fujifilm.co.jp>

**RMGT 970**が  
あなたの **SDGs** を  
アシスト  
**Assist**



人に優しい



地球に優しい



経営に優しい



RMGT 970 モデルは、オペレーターフレンドリーなユーザーインターフェースや作業負担を軽減する自動化 / 省力化機能をはじめ、損紙の削減や電力消費量低減によって省資源 / 省エネルギーに配慮した、人に地球に優しい印刷機です。さらに菊全判ジャストサイズによるコストメリットはもちろん、生産性や印刷物の付加価値を高める各種オプション機能も充実した、経営にも優しい印刷機です。

RMGT 970 モデルは、SDGs に取り組み、サステナブルな成長を目指すあなたの会社を強力にアシストします。

**RMGT** リョービMHIグラフィックテクノロジー株式会社

<https://www.ryobi-group.co.jp/graphic/>

## SCシリーズ断裁機 登場。

効率と安全性が更に進化。ナイフとバックゲージの速度が向上し、クランプ上昇安全機能を搭載。AIとの連携(オプション)も可能です。※eRCシリーズ断裁機との比較。写真はオプション仕様。

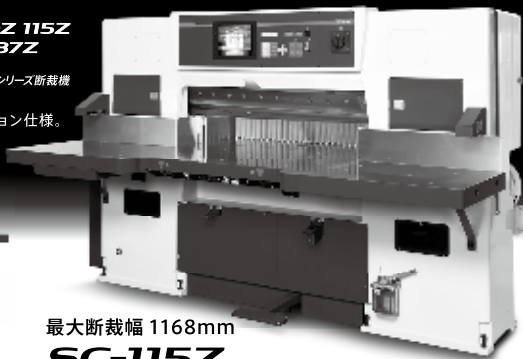
**SC** 100Z 115Z 137Z  
**SERIES** SCシリーズ断裁機



最大断裁幅 1030mm  
**SC-100Z**



最大断裁幅 1370mm  
**SC-137Z**



最大断裁幅 1168mm  
**SC-115Z**

*Safety Speedy Smart*



CIP4に対応  
(オプション)

**ITOTEC**  
イトテック株式会社

製品や機能の詳細など、お気軽にお問い合わせください。

<https://www.itotec.co.jp>  
e-mail [info@itotec.co.jp](mailto:info@itotec.co.jp)

本社 〒484-0912 愛知県犬山市舟田10-4 TEL 0568-67-5311 FAX 0568-68-0495  
[支店、営業所、サービスセンター] 東京・大阪・四国・福岡・札幌・新潟・仙台

## 巻頭言

# 「教育委員会事業への積極的な参加のお願い」

教育委員長 加藤 義章

教育委員会の加藤です。平素、組合員の皆様には教育委員会の活動にご協力頂き、誠にありがとうございます。これを書いている現在は新型コロナウイルスの第7波の真っ只中という所ですが、行動制限は大幅に緩和され、盆休みの人出もコロナ前以上という所も見受けられ、1年前に比べると、随分と様変わりしてきて、着実にアフターコロナへと前進しているのを感じます。しかしながら私の場合は中々旅行とまでは思えきれず、畑仕事などしながら、どこにも出かけない盆休みを過ごしました。畑仕事などを書きましたが、実は会社の敷地内に畑を作っておりまして、有志社員と家庭菜園的なことをしております。

昨年からはじめてみましたが、昨年は意外と収穫でき思ったより簡単ではないかと思ったりしておりました。今年は、もっと収穫できてしまうのではないかと安易に考えておりましたが、私の担当エリアは何とも不作。他の社員の所は、全く逆で豊作。これは一体何が違うのかなと思っておりましたが、よくよく考えると土の状態が悪いことに気づきました。他の社員達は、私が苗を植える随分と前から土づくりをしていました。私はというと、苗を植える、ぎりぎりの

時期に突貫工事で畑の畝を作って、苗を植えてしまいました。やはり、それでは、後から、どれだけ肥料をやろうと、しっかりと育ててくれません。

来年は、しっかり準備をするぞと誓うと共に、会社も同じだと今回思ったりしております。いかに良い社員（苗）がいてくれても、社員が育つ、育てる会社（土壌）がなければ、良い収穫を得ることは、なかなか出来ない。そのためにも会社の環境、土壌作りは大切だと今更ながら思ったりした次第です。

教育委員会は、まさに、その一助として存在しています。6月には3年ぶりに印刷技能検定を実施することが出来ました。また、10月には印刷営業講座、来年1月にはDTP検定を実施する予定です。その他、教育動画サイト「全印工連の学んで得するTV 印カレ」など、社内教育を充実させたい組合員企業様の一助となるプログラムを多岐にご用意しております。企業様には厳しい経営環境下、限られた人員での運営かとは思いますが、是非、機会を作って頂き、貴重な人材である社員の皆様の積極的なご参加をお待ちしております。宜しくお願い致します。



Giving Shape to Ideas

お客様の可能性を引き出す印刷現場での働き方改革をご提案します。



専任者不要

「スマートに働く」  
スキルレスオペレーション

作業の効率化

「無駄のない」  
シンプルな印刷プロセス

受注体制の拡充

「アイデアの具現化」  
高品質を生むテクノロジー



AccurioPress  
C4080/C4070

※写真はC4080にオプションを装着したものです。

コニカミノルタ ジャパン株式会社  
プロフェッショナルプリント事業部 西日本営業統括部 営業4部

〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄2-9-15  
三井住友海上しらかわビル11F TEL.052-229-4624

共に印刷の未来を創る  
つながるプリントラボ  
<https://www.konicaminolta.jp/pr/printlab>



# 「印刷営業士」資格取得

## 印刷営業講座(営業社員向け研修)

## 印刷営業技能審査認定試験(「印刷営業士」資格取得試験)

全日本印刷工業組合連合会が主催し各県の印刷工業組合が実施する営業社員向け研修講座「印刷営業講座」が開講される。この講座は、「印刷営業士」資格取得試験「印刷営業技能審査認定試験」(通称「印刷営業士認定試験」)の事前講習的な位置付けになっている。講座は、印刷営業活動の基本及び企画・マーケティング、見積りの基本、セールス&プロデュース、さ

らに、印刷関連技術の基礎知識、印刷とデジタルメディアの融合など、幅広く学ぶことができる。そのため、印刷営業士の資格取得試験に受験しない人でも、レベルアップを図るに有意義な研修内容となっている。

ここでは、愛知県印刷工業組合が実施する「印刷営業講座」と「印刷営業技能審査認定試験」について詳細する。

### 印刷営業講座

#### 10月7日に開講、4日間の日程

「印刷営業士」取得のための「印刷営業講座」受講資格は、印刷営業実務経験1年以上が必要となる。一方、「印刷営業技能審査認定試験」における受験資格については、以前は印刷営業実務経験2年以上を必要としていたが、現在では、印刷営業実務経験1年以上で企業主がその経験年数を認める者と改定されている。印刷営業士とは別に、国の認定制度に技能士(技能士：国が認定する国家認定制度で、印刷・DTP・製本の種類があり、合格すれば技能士を名乗ることができる)がある。こちらは印刷オペレーターなどが目指す最高の称号になる。技術畑での技能士、営業畑での営業士が企業にいて、社内においてはモチベーションの向上、対外的な面においては企業のプラス評価に繋がり大きな財産となる。

ちなみにこの講座は、一般からの受講も受け付けているので、誰でもチャレンジすることができる。

内)参照。

②日時:令和4年10月29日(土)。

◎当日のスケジュール:注意事項9時30分～9時45分、学科試験9時45分～10時45分(60分)、休憩10時45分～11時00分、見積りなど技能試験11時00分～12時30分(90分)。  
※9時30分までに集合(時間厳守)

③会場:メディアージュ愛知3階会議室(住所・TELは上記参照)。

※駐車場の利用ができないため、公共交通機関か車の場合は近隣の有料駐車場の利用になる。

④受験料(税込み):組員、一般共通1人13,200円(知識試験4,400円、技能試験8,800円)。

⑤受験資格:印刷営業実務経験1年以上の者で、企業主がその経験年数を認める者。

※印刷営業講座受講の有無は関係ない。

⑥試験の免除:知識試験または技能試験のいずれかが合格している試験についての受験は免除される。

### ■印刷営業講座

①日時:令和4年10月7日(金)、8日(土)、10月14日(金)、15日(土)。

②カリキュラム:別項参照。

③会場:メディアージュ愛知(愛知県印刷工業組合)3階会議室(〒461-0001名古屋市東区泉1-20-12、TEL052-962-5771、FAX052-951-0569)。

④受講料(税込み):各県工組の組員1人20,900円、一般1人38,500円。

⑤受講資格:印刷営業実務経験1年以上。

※駐車場が利用できないため、公共交通機関か車の場合は近隣の有料駐車場の利用になる。

### ■印刷営業技能審査認定試験

①試験科目と範囲:別項の「印刷営業技能審査認定制度案

### ■その他周知事項

◎受講・受験の申し込みは、「申込書」に必要事項を記入の上、愛印工組にFAXで申し込む(申込書は愛印工組ホームページから)。

◎「印刷営業技能審査認定試験」受験には、別途「受験申請書」の提出が必要になる。この申請書は、印刷営業講座の10月7日(初日)に配布され、10月15日(講座3回目)に提出するスケジュールになっている(講座を受講せずに受験する場合は郵送になる)。また、申請書には、顔写真(横4cm×縦5cm)の貼付が必要となるので事前に用意をする。

※愛印工組:URL <https://www.ai-in-ko.or.jp/>

※「印刷営業講座」は、「人材開発支援助成金(一般訓練コース)または(特定訓練コース/若年人材育成訓練)」の対象になっているので、詳しくは、愛印工組又は愛知労働局雇用助成室(TEL052-688-5758)まで問い合わせてください。

## 「印刷営業技能審査認定制度」 の案内

全国で13,000人以上の「印刷営業士」が活躍

### 全日本印刷工業組合連合会

全日本印刷工業組合連合会(全印工連)では、永年にわたり印刷営業士認定講習並びに同認定試験を実施してきた。全印工連として同制度を団体内の制度に止まらず、公的な認定制度として位置付け、社会一般の評価を高めると同時に、営業担当者としての自覚と知識習得意欲を高めることを目的に、昭和62年度をもって同制度を発展的に解消し、昭和63年度から新制度「厚生労働大臣認定の印刷営業技能審査(認定試験)」を開始し、合格者には印刷営業士の称号を与えることになった。すでに全国で13,000以上の方が印刷営業士の称号を受けて印刷業界で活躍している。

### 印刷営業技能審査試験の概要

#### (1) 認定試験の実施主体

当試験は全日本印刷工業組合連合会と都道府県印刷工業組合が主体となり実施される。

#### (2) 試験の水準

試験の水準は、「印刷営業に関する知識と技能について通常有していなければならない能力の程度」で、これがベースになって問題が作成される。この制度は、国が行なう技能検定を補完する性格を併せ持っているが、国の技能検定に置き換えると2級相当ということになる。

#### (3) 受験資格

印刷営業担当者としての経験年数が1年以上で、受験申請に際しては企業主の証明が必要。

#### (4) 受験手続

印刷工業組合が公示する日程に従って、所定の受付期間内に同工業組合へ申し込む。

#### (5) 試験の内容

##### ① 知識試験(学科試験に相当)

真偽法問題が30題(1問1点)、多肢択一法問題が30題(1問1点)、記述式問題が20題(1問2点)の計80問(100点満点)が出題され、試験時間は1時間。合否は、正答点数を得点とし66点以上が合格となる。

※真偽法問題とは、問題文が正しいか誤っているかを判断する問題。多肢択一問題とは、問題文の答えを4つの選択肢の中から選ぶ問題。記述式問題とは、ブランクに当てはまる語句を記述する問題。

##### ② 技能試験(実技試験に相当)

提案型営業課題に関する記述式問題が5問(50点)、積算見積に関する穴埋め式問題が25問(1問2点)の計30問(100点満点)が出題され、試験時間は1時間30分。

※提案型営業課題に関する論述式問題とは、逐語記録もとの問に対応し、回答を記述する問題。合否は正答点数を得点とし60点以上が合格となる。

※知識または技能試験のいずれか一方が不合格になったときは、それ以降の受験の機会に不合格となった試験を再受験することができる。

#### (6) 合格証

この知識試験、技能試験の両方に合格すると合格証が授与され、印刷営業士を称することができる。

#### (7) 試験の免除

知識試験または技能試験のいずれかが合格となっている者が再受験するときは、その合格となっている試験の受験が免除される。

#### (8) 受験料(税込み)

受験料は次の通り(受験申し込みと同時に納入)。

知識試験4,000円(消費税400円)計4,400円

技能試験8,000円(消費税800円)計8,800円

#### (9) 当日持参するもの

① 受験票、② 印刷物積算見積料金例(経済調査会発行「積算資料 印刷料金」)、③ 鉛筆、消しゴムなどの筆記用具、④ 電卓(技能試験「積算見積」で使用)。

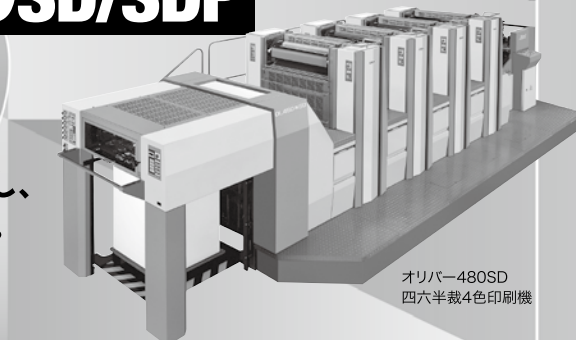
※全印工連「印刷営業技能審査認定制度」の案内は、先月に「あいちの印刷」と共にお送りしていますのでご確認ください。また案内は、全印工連ホームページから検索することができます。

四六半裁

# OLIVER 480SD/SDP

LED-UV搭載

究極まで追求した  
最新テクノロジーを随所に採用し、  
更なる高品質・高生産性を実現。



オリバー480SD  
四六半裁4色印刷機

大好評! オリバーSD/SDPシリーズ 菊半裁・四六半裁・菊全判の3機種

最高の製品をお届けすることで、  
お客様の満足をお約束します

**Sakurai**  
株式会社 桜井グラフィックシステムズ  
<http://www.sakurai-gs.co.jp>

本社  
〒135-0032 東京都江東区福住2-2-9  
TEL.(03)3643-1131(代) FAX.(03)3643-1138

中部営業所  
〒501-3733 岐阜県美濃市3951  
TEL.(0575)33-2551(代) FAX.(0575)35-2881

大阪営業所  
〒532-0012 大阪府淀川区木川東3-1-31  
TEL.(06)6308-6651(代) FAX.(06)6308-6679

九州営業所  
〒810-0001 福岡市中央区天神5-5-8  
TEL.(092)741-2672(代) FAX.(092)741-2670

岐阜工場  
〒501-3733 岐阜県美濃市3951  
TEL.(0575)33-1260(代) FAX.(0575)33-3146



ISO 9001-14001認証取得  
生産技術本部

# 令和4年「印刷営業講座」日程とカリキュラム

主催：全日本印刷工業組合連合会  
 実施：愛知県印刷工業組合、会場：メディアージュ愛知

開催日時	時間	カリキュラム項目	カリキュラム内容	講師
令和4年10月7日(金) 13時00分～18時00分	2時間	1. オリエンテーション・メディアリテラシー (13時00分～15時00分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●印刷メディアの発展と成熟化                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・工業出荷段階/事業所数推移から見る事業規模変化</li> <li>・デジタル化の流れ (バロット、多品種、個別化)</li> </ul> </li> <li>●バーメディアにおけるコンテンツ作成の特徴                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・商印/出版/証券/事務/包装/建築材</li> </ul> </li> <li>●オンラインメディアのコンテンツ作成の特徴                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネット/メール/Web (検索・ポータル・LP)</li> </ul> </li> <li>●インターネットを活用した新ビジネス・新サービス                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・印刷通販/オンデマンド出版</li> </ul> </li> <li>●オンライン/オフラインの融合                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・オフラインtoオンライン (各種コード/ARなど)</li> </ul> </li> <li>●各種用語とその解説                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・クロスメディア他</li> </ul> </li> </ul>	宮本 泰夫 氏  ㈱/バーメディア インターナショナル
		2. 印刷関連技術の基礎知識 (15時00分～16時00分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●印刷技術の種類と分類</li> <li>●コンベンショナル印刷技術の基礎と特徴                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・オフセット/グラビア/フレキソ/スクリーン</li> </ul> </li> <li>●デジタル印刷技術の基礎と特徴                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・トナー (乾式・液体) / インクジェット/Landaid など</li> </ul> </li> <li>●ワークフローシステム                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種自動化と見える化 (MIS/JDF/JMF)</li> <li>・カラーマネジメントと校正出力の変化</li> <li>・線点校正→インクジェット/オンライン校正</li> </ul> </li> </ul>	
		(1)メディアの変化と産業の変容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モノクロ印刷からカラー化/専用システムからSDTP</li> <li>・ペーパーメディアからオンラインメディアへのシフト</li> </ul>	
		(2)メディアとコンテンツ作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種印刷ECサービス (フォト、ラベル、包材など)</li> <li>・オンラインtoオフライン (O2O)</li> </ul>	
1時間	0.5時間	(3)印刷とデジタルメディアの融合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オンビネーションプレス技術 (ラベル他)</li> </ul>	
		(4)材料技術	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特殊色材 (蛍光/MICR/セキュリテイニングなど)</li> </ul>	
		(5)デジタル印刷とその事例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報漏えいによるトラブルと企業に対するダメージ事例</li> <li>・著作権/知財権などの権利関係の理解</li> <li>●安全衛生への取り組み (ISO14001)</li> </ul>	
		3. 営業活動の基本 (16時00分～16時30分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●経営理念と企業の強み・弱みの理解の重要性</li> <li>●PL/BSの理解                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・原価管理の重要性/売上管理と利益管理</li> </ul> </li> <li>●営業方針 (営業戦略・顧客戦略)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・既存顧客の育成方針など</li> </ul> </li> </ul>	
		(1)経営方針・経営計画の理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>●各種情報管理のあり方の理解                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・Pマーク/ISMS (ISO27001)</li> </ul> </li> <li>●商取引/契約の形態の理解                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・委託契約とSLA (検査義務・基準色など) / 第三者委託</li> </ul> </li> <li>●品質管理・製造者責任への取り組み (ISO9001・PL法など)</li> <li>●環境対応への取り組み (各種環境対応認証・マークの付与など)</li> </ul>	
1.5時間	0.5時間	(2)売上高から経常利益までのフロー	<ul style="list-style-type: none"> <li>●営業方針・営業計画の理解</li> </ul>	
		(3)安心と安全 (安全衛生Th、PL法、公審等…)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●環境対応への取り組み (各種環境対応認証・マークの付与など)</li> </ul>	
		4. コンプライアンス (16時30分～18時00分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●各種情報管理のあり方の理解                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・Pマーク/ISMS (ISO27001)</li> </ul> </li> <li>●商取引/契約の形態の理解                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・委託契約とSLA (検査義務・基準色など) / 第三者委託</li> </ul> </li> <li>●品質管理・製造者責任への取り組み (ISO9001・PL法など)</li> <li>●安全衛生への取り組み (ISO14001)</li> </ul>	

開催日時	時間	カリキュラム項目	カリキュラム内容	講師
令和4年10月8日(土) 9時30分～16時30分	6時間	5. セールス&プロデュース (9時30分～16時30分/うち昼休憩60分) (1)セールス&プロデュースの考え方 (2)マーケット情報の収集と分析 (3)企画・マーケティングの知識 (4)販説立案とヒアリング	カリキュラム内容 ●印刷会社と印刷物の役割 ●顧客が求める印刷会社の姿とは ●基本的な顧客提案のあり方と考え方 ●受注生産であるからこそ必要な提案プロセス ●情報の収集と分析 ・マーケット情報の収集と理解の重要性 (何のために・何に利用) ・分析に必要な定量情報 (市場規模・企業会計報告など) ●企画・マーケティングの必要性 ・顧客営業面と自社戦略面の双方についての必要性 ●マーケティング手法の理解 ・市場分析 (4P分析/4C分析) と視点の移行 ・製品分析とセグメンテーション (RFM/STP) ●企画提案の具体的な流れを理解する ・提案とは何か/顧客視点のあり方 ●販説立案プロセス ・市場/顧客情報から課題を見出す (販説) ●ヒアリングプロセス ・顧客課題と本質の理解 (顕在課題と潜在課題) ●分析作業 (WHY・HOWツリー) から導く企画提案内容 ・実施優先度/各種制約事項と代替案の作成 ●企画提案のために考えておくこと ・課題の本質と提案が解決すべき本質 ・バートナー戦略 ●プレゼンテーション ・資料作成が目的ではない ●顧客情報管理 ・インナーマーケティングの重要性を理解する ●組織として取り組むマーケティングのあり方 ●スケジュール作成 ●顧客コミュニケーション計画 ・アフターフォローの重要性と納品後のアクション ●各種用語の解説	宮本 泰夫 氏 (株)バリュエーション インターナショナル
令和4年10月14日(金) 13時～18時	5時間	6. 見積算概説・見積計算演習 (13時00分～18時00分) (1)見積りの基礎知識 (2)オフセット印刷の見積計算 (3)デジタル印刷の見積計算 (4)見積書の活用方法	●見積りの目的 ・立場による目的の違い ●見積りと原価の関係 ・原価構成の基礎知識 ・見積りに必要な情報 ・仕様・価格の整理 ●見積項目と計算手順 ・デザイン ・プリプレス (DTP・校正・刷版) ・プレス (印刷) ・ポストプレス (製本加工) ・用紙・諸経費 ●計算練習 ●見積項目と計算手順 ・プリプレス (出力前準備) ・プレス (出力) ・ポストプレス (製本加工) ・用紙・諸経費 ●見積りで伝えられること ・信頼性・論理性 ・自社技術・創意工夫 ・見積り条件と修正への対応 ・見積りソフトの活用と注意点 ●付加価値をどのように表現するか ・付加価値とは ・印刷付帯サービスの扱い	高見 隆登 氏 (一社)経済調査会
令和4年10月15日(土) 10時30分～16時30分	5時間	7. グループワーク (10時30分～16時30分/うち昼休憩60分) セールス&プロデュースで学んだ項目の実践	●セールス&プロデュースで学んだ項目を実践的体験をする。 ●3～5人、1チームで案件の検討、まとめ、発表する。 ●チームごとに発表、質疑応答をする (印刷会社と得意先を想定) = 提案準備プロセス⇒提案企業⇒プレゼン ●提案に必要な準備プロセスを体験しその意味を知る。 ●参加者各社について身近になるテーマを設定する。(各社個別の内容にすることも可能) ●最終的に講師の総評を行う。	宮本 泰夫 氏 (株)バリュエーション インターナショナル

# 「印刷物ご発注に関するお願い」

## 「官公庁用」「一般顧客用」の2種類用意

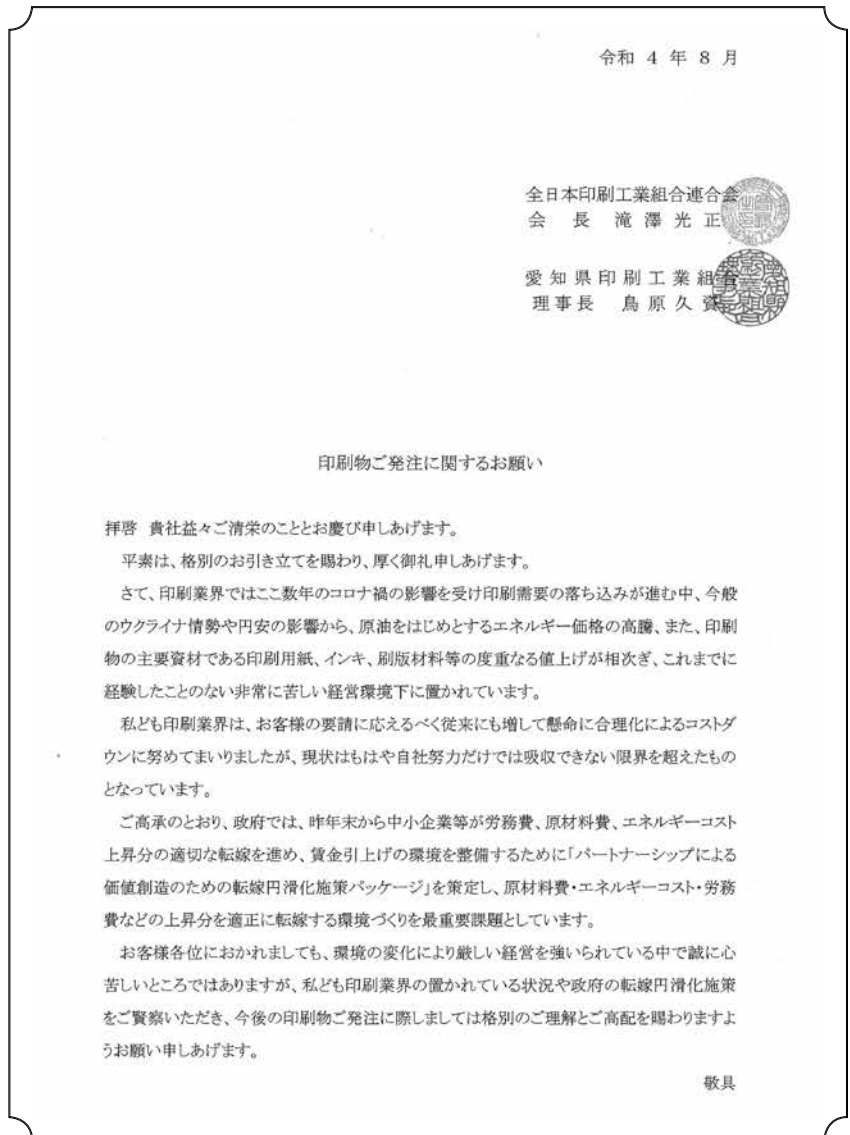
### ■本文は修正せずに使用

愛印工組より8月2日組合員の皆様方に、「印刷物ご発注に関するお願い」と題した文書をメールで配信しましたが、本誌で改めて取り上げご案内いたします。

文書作成に関して全印工連では、「昨秋より続いているさまざまな影響による物価の高騰が、組合員企業の経営に重大な影響を与えていることに加え、一部においては現状においても適正な価格転嫁が進んでいない状況を鑑み、全印工連会長名でお客様に現状の理解をいただく文書を作成しました」と案内しており、愛印工組ではこの文書に愛知県印刷工業組合理事長名を加えたデータを貼付し、必要に応じて利用していただくようにしております。右枠内の文書は、一般顧客用のものになります。

使用される場合には、それぞれの見本を参照の上、左上に提出先名（お客様名等）を記載いただき、右の鳥原理事長名の下に、貴社名、代表者の職・氏名・代表者印を押し使用してください。

使用にあたり注意していただきたいこととして、「①本文書は使用を強制するものではありません、②本文書の配布を契機として、組合員間での協調的行動がとられた場合には、独占禁止法上問題となります、③本文は修正せずにそのまま利用くださ



A4サイズを縮小、文書ひな型は「一般顧客用」

い」などが挙げられていますので、ご配慮ください。

※文書は、「官公庁用」と「一般顧客用」の2種類を用意しています。文書内容に若干違いがありますので、使用にはご注意

ください。また、今回の対応にあたって、印刷産業全体で適正価格での受注に取り組むとの観点から、日本印刷産業連合会からも北島義斉会長名での文書も作成され提供されています。

## 『印刷業向け業務パッケージの決定版 P-MAN』

# 印刷情報管理システム



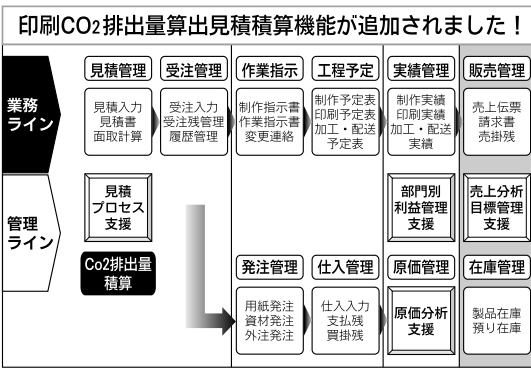
P-MAN Business e-Brain  
Print Manager

見積・受注・制作予定・印刷予定・加工/配送予定  
在庫・発注仕入・販売・原価システム

営業情報を正確に早く、制作・製造部門に伝えることで生産性の向上、ミス・ロスの低減を行い利益向上を計ります。

『導入実績100社』

『今こそ!!情報の見える化(MIS)』



株式会社 モトヤ 〒542-0081 大阪市中央区南船場1-10-25 TEL. 06-6261-1931  
〒104-0032 東京都中央区八丁堀4-5-5 TEL. 03-3523-8711



# 「2023愛知環境賞」および第5回「あいちサービス大賞」募集の案内

## 「2023愛知環境賞」

愛知県では、産業廃棄物税を活用し、企業・団体などが行なう先駆的で効果的な環境取り組みの事例を「環境大賞」として、環境パートナーシップ・CLUB(EPOC)および中日新聞社と共同で表彰している。

愛知環境大賞は、「優れた事例を広く紹介することによって、新しい生産スタイルや生活スタイルを社会に根付かせ、循環型社会の形成や脱炭素社会の実現を促進する」としており、「現在、2005年の創設から19回目となる2023愛知環境賞の選考対象となる取り組みを募集しており、積極的なエントリーをお待ちしています」と呼び掛けている。

■募集対象者：企業・団体またはグループ(個人での応募はできない)。

■応募対象事例：サーキュラーエコノミーやカーボンニュートラルに関する取り組みなど、資源循環や環境負荷低減を推進する先駆的で効果的な愛知県内の技術・事業／活動・教育としている。なお、計画段階にある事業についても応募できるが、愛知県内で実施可能性の高いものに限る。

■応募期間：2022年8月1日(月)から9月30日(金)まで(必着)。

■応募方法：所定の応募用紙に必要事項を記載の上、10部を「提出先・問い合わせ先」まで直接持参するか、郵便・宅配便などで送付する。また、全てのデータを格納したCD-Rなどの電子媒体も併せて1部提出する(電子メール不可)。なお、応募した申込書や電子媒体などは返却しません。

応募用紙は下記のWebページからダウンロード  
<https://aichi-shigen-junkan.jp/kankyoushou/>

■審査のポイント：2022年10月中旬から12月中旬までの間に、以下の観点から審査・選考を実施する。

<技術・事業>①先駆性・独創性、②環境負荷低減効果、③実績・将来性、④社会性・波及性。

<活動・教育>①先駆性・独創性、②連携・協働性、③継続性、④社会性・波及性。

なお、必要に応じてヒアリングまたは現地調査を行なう。

■賞の種類：金賞、銀賞、銅賞、中日新聞社賞、名古屋市長賞及び優秀賞。

■選考結果の公表：選考結果は2022年12月下旬に公表。表彰式は2023年月上旬に開催予定。内容が決定次第記者発表を行なう。

■届け出先・問い合わせ先：愛知県環境局資源循環推進課循環グループ(県庁西庁舎7階)〒460-8501名古屋市中区三の丸3-1-2 TEL052-954-6233(ダイヤルイン)、受付時間は午前8時45分から午後5時30分まで。

## 「第5回あいちサービス大賞」

愛知県では、2018年度から先進的なサービスを提供している事業者を募集し、優秀な成功事例を「あいちサービス大賞」として表彰しており、第5回目が募集されている。愛知県では、「受賞した事業者やその取り組み・サービスを広くPRすることにより、県内のサービス産業の生産性向上を図る」としている。

### 【応募方法】

○提出書類：専用ポータルサイト(ザ・ポータルあいち)の応募フォームから応募するか、必要事項を記入した応募用紙を郵送または電子メールで送る。

○応募期限：2022年9月16日(金)。

※詳細は、愛知県ホームページから

○問い合わせ・提出先：〒460-8501名古屋市中区三の丸3-1-2(愛知県庁本庁舎1F)愛知県経済産業局中小企業部商業流通課商業振興グループ TEL052-954-6337(ダイヤルイン)、FAX052-954-6925。

—— 安心を明日につなぐ ——

火災共済

—— お問合せは愛印工務局へどうぞ!! ——

(( ( **小さな掛金** ) ))  
(( ( **大きな安心** ) ))



## 愛知火災共済協同組合

本部 〒460-0011 名古屋市中区大須四丁目10番23号 TEL 052 (251) 6 2 8 1  
(上前津KDビル内) FAX 052 (251) 7 2 7 3

## ■低濃度PCB汚染対策について

# 低濃度PCBに汚染された電気機器などの処分

## 現在、使用中の電気機器から確認を！

低濃度PCB廃棄物の処分期限が迫ってきたことから、経済産業省では、「低濃度PCBに汚染された電気機器などの早期確認のための調査方法及び適正処理に関する手引書」(本編・詳細版)を作成しました。また、7月27日ZOOMビデオウェビナーで、PCBに汚染された電気機器などの調査方法及び適正処理に関する説明会を開き周知に努めています。処分が義務付けられた低濃度PCBに汚染された電気機器について、その概要を紹介してみます。



環境省パンフレット

## 低濃度PCBに汚染の電気機器 令和9年3月31日処分期限

### いまずぐ調べて適切に処分！ 低濃度PCB廃棄物

環境省では、経済産業省とは別にPCB廃棄物の周知のために、「調べて適切に処分！低濃度PCB廃棄物」と題したパンフレットを制作しています。PCB廃棄物処分のため、「倉庫や古い電気機器の低濃度PCBが潜んでいるかもしれません。PCB廃棄物は処分期限までに処分が必要です。いまずぐ調査をお

願いします」と呼び掛け、特に、「製造後30年以上経過した古い電気機器の絶縁油は、PCBに汚染されている可能性がありますので、いまずぐチェックが必要」と、緊急対応を促しています。

改めてPCBとは何かを見てもみますと、次のような説明があります。「PCBは、Poly Chlorinated Biphenyl(ポリ塩化ビフェニル)の略称で、人工的に作られた、主に油状の化学物質になる。PCBの特性は、沸点が高く難燃性で、熱的・科学的に安定といった優れた性能を有することから、かつて変圧器・コンデンサーなどの電気絶縁湯、各種熱媒体、ノンカーボン紙などの溶剤などに広く使用されていた。ところが、昭和43年(1972年)に発生したカネミ油症事件を契機にその毒性が

#### 低濃度PCBに汚染された電気機器などの早期確認

- 製造後30年以上経過した古い電気機器の絶縁油は、PCBにより汚染されている可能性がある。
- こうした機器のうちPCB濃度が0.5mg/kg(=ppm)を超え5,000mg/kg以下の物は、低濃度のPCBにより汚染された機器に該当する。これらを廃棄する場合は、低濃度PCB廃棄物としてPCB特措法において、令和9年(2027)3月31日までに処分しなければならない。古い電気機器などの所有者は速やかに施設内の電気設備や倉庫などを点検し、該当の電気機器がないか確認する。
- PCB汚染の可能性がある電気機器には、自家用電気工作物の変圧器や電力用コンデンサーなどのほかに、電気溶接機、X線照射装置、昇降機、分電盤、モーターなど

に付属または内蔵する低圧コンデンサーがある。

- 出荷時点においてPCB汚染の可能性がある電気機器の製造時期は次の通り。まず、電気機器の銘板情報などから製造年を確認し、メーカーに問い合わせるか、絶縁油の採取可能な機器は採取してPCBを測定する。
- 絶縁油の交換が可能な変圧器など：平成5年(1993年)以前、●絶縁油封じ切り機器(コンデンサーなど)：平成2年(1990年)以前
- 将来的に廃棄される予定の低濃度PCB廃棄物も含め、PCB措置法に従って管轄の自治体に届け出る。なお、使用中の自家用電気工作物がPCBに汚染されたものであった場合は、電気事業法の電気関係報告規則に従って管轄の経済産業省産業保安監督部に届出をする。

※「低濃度PCBに汚染された電気機器などの早期確認のための調査方法及び適切処理に関する手引き」より

自家用電気工作物



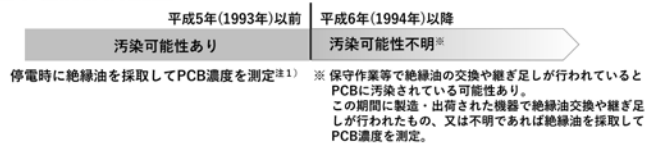
明らかとなり、国内では昭和47年(1972年)に製造・輸入・使用が禁止された。また、難分解性で生物濃縮性があり地球規模で汚染が拡散していることが確認されたことから、『残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約』の代表的な規制対象物質に指定さ、令和10年(2028年)までに適正な処分が求められている。国内では、平成13年(2001年)にポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法(PCB特措法)が成立・施行され、令和9年(2027年)3月31日を期限として処理が義務付けられた。

そして、「国内メーカーが平成2年頃までに製造した電気機器には、PCB汚染に可能性があり、身近な電気機器や汚泥などがPCBに汚染されていないか調査が求められている」と指摘しています。

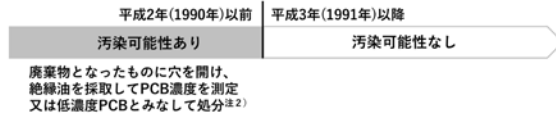
電気事業法では、該当する12種類の自家用電気工作物として、「変圧器、電力用コンデンサー、計器用変成器、リアクトル、放電コイル、電圧調整器、整流器、開閉器、遮断機、中性点抵抗器、避雷器及びOFケーブル」を定めています。また、これら以外に非自家用電気工作物(低圧コンデンサー)として、「X線発生装置、X線検査装置、電気溶接機、さらに、エレベーターやエスカレーターなどの昇降機などを行動するために高電圧発生装置として組み込まれた低電圧コンデンサー、さらに、工作機械、排水ポンプ、乾燥機などに使われているモーター起動用の低電圧コンデンサー」などが挙げられています。

低濃度PCB該当性判断方法

変圧器など(絶縁油採取可能機器)



コンデンサー(絶縁油封じ切り機器)



PCBに汚染された電気機器の判別方法は、「出荷時点における電気機器の製造時期」を確認することを奨めています。例えば、「電気機器の銘板情報などから製造年月日を確認し、メーカーに問い合わせるか、採油可能な機器は採油してPCB濃度を測定する」としています。また、低濃度PCB廃棄物の調査から処分までの調査手順として、自家用電気工作物の場合と非自家用電気工作物(低圧コンデンサー)の場合に分けて解説しています。その方法を上図に示しましたが、(※1)は、「PCBの分析を行なう機関『日本環境測定分析協会』のHPで検索」、(※2)は、「確実にPCBが使用された絶縁油に由来するものでないことが、銘板情報などから明らかであれば、分析値がなくても低濃度PCB廃棄物として無害化処理業者に委託して処理することができる」としています。

この低濃度PCB該当性判断方法については、変圧器など(絶縁油採取可能機器)とコンデンサー(絶縁油封じ切り機器)を挙げて紹介しています。

また、調査後の必要な届け出としては、「①使用中の電気機器の場合、②保管中・廃棄物の場合」を紹介。そして、適正な処理の方法として「①保管、②収集運搬の委託、③無害化処理業者への処理委託」などが指示されています。ちなみに、使用中の電気機器の場合における必要な届け出としては、「使用中の電気機器が低濃度PCB含有電気工作物に該当することが判明した場合は、電気事業法の電気関係報告規則に従い、電気機器を設置している場所を管理する産業保安監督部に遅滞なく届け出ることが必要」としています。

いずれにしても、処分期限が令和9年3月31日までになっています。\*まだ先の話だ、とせず、まずは現在使用している古い電気器具から確認をしてください。

※詳細については、経済産業省、環境省の「PCB汚染」で検索ができますので確認ください。

**240線から340線、FMスクリーンの高画質高精細印刷を標準稼働中!!**  
**価格は175線と同額**

データから印刷・製本・発送まで  
 自社一貫体制でお引き受けします

**大日印刷株式会社**

☎0564-62-8461(代) FAX 0564-62-8463

大日印刷 検索

盛功社の創業は1889年。2018年に130周年を迎えました。  
 3世紀にわたるご愛顧をいずえとして  
 新たな未来へ羽ばたきます。

●印刷機械 ●製版機械 ●製本機械  
 ●DTP関連機 ●印刷諸材料

**株式会社 盛功社**

〒461-0014 名古屋市東区榑木町3丁目17番地  
 TEL 052-932-5611 FAX 052-931-0280  
 http://seikosha-net.jp/

## 中小企業庁

### ポータルサイト「みらデジ」オープン

#### デジタル化に役立つ情報を紹介

中小企業庁では、中小企業のデジタル化に役立つ情報をワンストップで紹介するポータルサイト「みらデジ」をオープンした。みらデジは、「デジタル化は必要だと思うけれど、何処から手をつければよいかわからない」、「どう進めればよいかわからない」といった中小企業の悩みをワンストップで対応。まずはスマホやPCから質問に回答するだけの「みらデジ経営チェック」で、自社のデジタル化の進捗度を確認する。弱みや課題が解決できたら、課題解決に向け専門家による無料相談「みらデジリモート相談」も受けられる。

みらデジ式経営課題解決のための3つのステップ

#### ●STEP① 経営チェック

あなたの会社の経営課題やデジタル化への取り組み状況を「みらデジ経営チェック」で確認。チェック後、利用者登録を行なうと「マイページ」が作成され、チェック結果を保存できる。

#### ●STEP② 専門家に経営相談

「みらデジ経営チェック」の結果を基に、各種支援機関の担当者や「みらデジリモート相談」(みらデジ事務局)の専門家から、デジタル化の取り組みに向けたアドバイスや補助金などの施策、ITツール機能の紹介がある。

#### ●STEP③ 課題解決に取り組む

専門家からのアドバイスを基に、経営課題解決に向けて取り組んでいく。みらデジ事務局の専門家が引き続きサポートを行なう。

#### ●GOAL 経営課題解決

課題が解決された後の状況を、「みらデジ経営チェック」でもう一度チェックしてみることも可能。もし新しい課題が発見されれば再び相談ができる。

※特別なアプリのダウンロードは不要。誰でも無料で利用ができる。会員登録は、GbizIDを使うと簡単に登録ができる。

※詳細は、<https://miradigi.go.jp/> で検索。

## 日印産連

### 「印刷産業とSDGs」開設

#### SDGsサポートツール

日本印刷産業連合会(日印産連)では、会員企業のSDGsへの取り組みを支援する目的で、日印産連のポータルサイト上に、SDGsポータルサイト「印刷産業とSDGs」を開設。さまざまなサポートツールを提供している。例えば、取締役会での参考資料、SDGs導入検討会用の資料、また、社内研修会、新人社員研修会などでSDGsについて学習する際などに利用できる。

#### 【SDGsサポートツール】

##### ①SDGsとは？

SDGsの概要についてわかりやすく解説したYouTube形式の動画や役員・社員が講師役として説明する際にそのまま使えるPDF形式の説明資料を用意。

##### ②SDGsに取り組むメリット・効果

何故SDGsに取り組むのか。SDGsに取り組むメリット・効果について、事例と共にわかりやすく解説したPDF形式の説明資料を用意。

##### ③SDGsターゲットマッピングリスト

自社で行なっている取り組みは、SDGs169のターゲットのどれ該当するのかが分かるように、印刷会社でよく行なわれている取り組みの事例を記載したマッピングリストをM/S Excelシートで用意。リストに記載されている事例と自社の取り組みを照らし合わせることで、SDGsのターゲットのどれに該当するかマッピングできる。

##### ④SDGs導入ツール／参考資料

SDGsの基本的な説明から、ステップを踏んで経営に統合し、情報開示を行なうまでのSDGsの導入方法を解説した。さまざまな資料を用意。用途に合わせてダウンロードして利用できる。

※SDGsポータルサイト

<https://www.jfpi.or.jp/topics-detail6/id-5357>

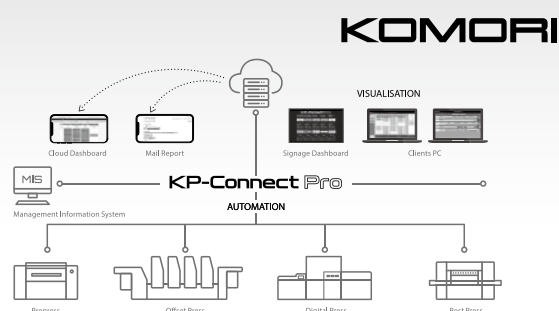
100<sup>th</sup>



## CONNECTED AUTOMATION

— 印刷DX 新しい世界への扉 —

「データの一元化」「見える化」「整流化」「自動化」



株式会社 小森コーポレーション

本 社 〒130-8666 東京都墨田区吾妻橋 3-11-1 TEL.03-5608-7806

名古屋支店 〒454-0807 愛知県名古屋市市中川区愛知町4-6 TEL.052-363-5011

コネクテッド・オートメーション  
についての詳細はこちら



# ■「IGAS2022」最新情報

## 開催は11月24～28日／多彩な情報を5日間発信 リアルとバーチャルのハイブリッド展示会

一般社団法人日本印刷産業機械工業会（日印機工／森澤彰彦会長）とプリプレス&デジタルプリンティング機材協議会（プリデジ協／辻重紀会長）主催の「IGAS2022」が11月に開催される。この程、その開催概要が発表された。

### 【開催概要】

●名称：「IGAS2022（国際総合印刷テクノロジー&ソリューション展） International Graphic Arts Show 2022

●開催趣旨：プリプレス、プリメディア、印刷、製本、紙工、ラベル、パッケージング、クロスメディア関連の最新機材・技術・サービスを一堂に会した国際総合印刷テクノロジー&ソリューション展。最新技術や様々なソリューションを提案するとともに印刷産業の未来を展望できる場とする。また、ビジネス・人材の国際交流を図り、印刷産業および関連産業の活性化と興隆に貢献する。

●テーマ：Venture into the innovation!

- 新たなイノベーションへの挑戦 -

●主催：一般社団法人日本印刷産業機械工業会、プリプレス&デジタルプリンティング機材協議会

●会期：2022年11月24日（木）～28日（月）の5日間

●開催時間：午前10時～午後5時（開催初日のみ午前11時～午後5時）

●入場料：当日2,000円（事前登録の場合無料）

●会場：東京ビッグサイト東展示棟1、2、3、5、6ホール（〒135-0063 東京都江東区有明3-10-1）

●出展者数：210者、小間数：1,849小間（7月13日現在）

### 【イベント】

#### ■IGAS LIVE TV

スペシャルナビゲーターにフリーアナウンサーの大橋未歩さんを迎え、IGAS2022のイベントや見どころの紹介、トップインタビューなどをWebにて配信する。

#### ■PANEL DISCUSSION

●11月26日14:00～16:00（605、606会議室：200名）

「DX（デジタルトランスフォーメーション）と印刷産業の接点を考える」

●11月24日14:00～16:00（102会議室：100名）

「Smart Factory化がもたらす未来の印刷工場」

●11月25日11:00～13:00（102会議室：100名）

「印刷ビジネスにおける高付加価値化・キャッシュポイントを考える」

●11月25日14:00～16:00（102会議室：100名）

「インダストリアル印刷市場におけるデジタル印刷の可能性」

●11月26日11:00～13:00（102会議室：100名）

「カラーマネジメントとJapanColor認証制度」

●11月27日11:00～13:00（102会議室：100名）

「印刷ビジネスのキーワードについて語ろう」

●11月27日14:00～16:00（102会議室：100名）

「変わる出版印刷ビジネスに見る印刷・サプライチェーンの再構築と将来像」

#### ■TOUR

スタンダード、テーマフォーカスの2パターンのツアーを用意するとともにWebにて配信。

●スタンダードコース

IGAS2022のトレンドをコンパクトに紹介。IGAS全体を俯瞰して見学できる。ツアー 50分／定員15名（1コース）

●テーマフォーカスコース

様々なテーマを設定して、専門的な情報と出展企業紹介。事前セミナー 20分＋ツアー 40分／定員15名（1コース）

#### ■INNOVATIVE BUSINESS ZONE

中小印刷会社、プリントバイヤー、ブランドオーナーに向け、出展社が共同で印刷ビジネス拡大のためのヒントを提供する特設ゾーン。

●スモールスタートエリア

高付加価値商材の企画、製造に関わる各種デモンストレーション／マーケティング機能などと連動した新たな印刷ビジネスの在り方の訴求／自動化、省人化などを目指す製造システムの効率化の訴求。

●インダストリアルプリントエリア

印刷用紙以外の特殊素材に対する小ロット印刷技術のデモンストレーション／多様な産業用と市場に向けた印刷ビジネスの拡大を訴求。

#### ■JAPAN PRINTING EXHIBITION (JPEX)

カレンダー、カタログ、造本装幀など各種コンテストの優秀作品を一挙公開。

#### ■EVENTS

●SMART FACTORY IGAS2022

東6ホールで開催。

●フレクソ・ジャパン2022

フレクソ印刷に関する国内外の最新技術及び市場動向をフォーラムとテーブルトッピングを通じて発信。

※IGAS公式ホームページ <http://www.igas-tokyo.jp>

## 《参加のお奨め》

### ●全印工連:「CSRサミット2022」

# SDGsを企業経営にどう生かすか

## パネルディスカッション／分科会

全日本印刷工業組合連合会では、9月29日に愛知県産業労働センター「ウインクあいち」において、「SDGsを企業経営にいかんにかすか」をテーマに、「CSRサミット2022」を開催する。

### 【開催概要】

○日時＝2022年9月29日（木）午後2時～5時

○場所＝ウインクあいち（愛知県産業労働センター）10階会議室／名古屋市中村区名駅4-4-38 TEL052-571-6131

○参加費＝一般：2,000円、学生：無料

○定員＝150名（定員になり次第終了）

### 【スケジュール】

○オープニングセレモニー

開催挨拶、会長挨拶など

○基調講演

講師：亀井善太郎氏（PHP総研主席研究員、立教大学大学院特任教授、全印工連CSR認定委員長）

○パネルディスカッション

テーマ「SDGsを企業経営にいかんにかすか ～地域のありたい未来にしていくな

めに～」

コーディネーター：浦久保康裕（全日本印刷工業組合連合会CSR推進委員長）

パネラー（予定）：愛知県／㈱アイシンサステナビリティ推進室／愛知県立南陽高校Nanyo Company部／愛知県印刷工業組合組合員企業

○分科会①：テーマ＝SDGsの視点から見た企業選び（就職すべき会社を見極めるためにSDGsの視点から企業分析を行なうツールの説明・分析事例の紹介）、講師：影山摩子弥氏（横浜市立大学国際教養学部教授）

○分科会②：テーマ＝行政の調達が社会を変える！「SR調達」の可能性と課題（価格ではなくSDGsの考え方を反映させた調達を実践する和歌山県の事例、成果を紹介）、進行担当：白子欽也（全日本印刷工業組合連合会CSR推進委員会委員）

### 【申し込み、問い合わせ先】

全日本印刷工業組合連合会  
CSR推進委員会 TEL03(3552)4571、  
FAX03(3552)7727。

AM10:00～PM5:00、10月7日（金）

AM9:30分～PM4:00

○会場：光文堂テクニカルステーション（名古屋市昭和区福江2-10-15）

○主催：㈱光文堂

○協力：愛知県製本工業組合、愛知県トムソン工業協同組合

### ●全印工連:CSR認定

## 第39期ワンスター認定募集

### 10月31日締め切り

全日本印刷工業組合連合会では、CSR認定・第39期ワンスター認定の募集を行っている。募集期間は、8月1日（月）から10月31日（月）まで。認定登録は12月（予定）。

申請書類は、応募申込書の到着後、全印工連より申請書類が送られてくるので、次の①～⑤を提出する。①CSR取り組み項目チェックリスト、②法令遵守宣誓書（所定様式）、③納税証明書（税務署が交付した証明書）、④過去3年の行政処分がないことの宣誓書（所定様式）、⑤添付書類（CSR取り組み項目チェックリストでチェックした項目を証明する書類）。

その他、問い合わせは、全印工連CSR認定事務局（TEL03-3552-4571）、あるいは、[全印工連CSR](#)で検索。

なお、2022年7月現在CSR認定企業は136社になる。

### ●光文堂

## 「最新製本省力化機材展」

### 10月6・7日に開催

㈱光文堂は、恒例の「最新製本省力化機材展」を、10月6・7の両日昭和区福江にある光文堂テクニカルステーションで開催する。今回で46回目を迎えた製本機材展、最新の製本・紙工関連機材が一堂に展示され、製本・紙加工業界が抱える各種

課題を解決するソリューションが披露される。

### 【開催概要】

○名称：第46回「最新製本省力化機材展」NEW VALUE to PostPress～ポストプレスに新しい付加価値を～

○会期：令和4年10月6日（木）

## 編集だより

□暑さと熱中症、そして、コロナ対策とまだまだ気が抜けません。くれぐれも健康に気を付けていただきたいと思います。□低濃度PCBに汚染された電気機器の処分について取り上げましたので一読ください。

## あいちの印刷

No.610

令和4年9月10日発行

発行人 鳥原久資  
編集 組織・共済委員会  
発行所 愛知県印刷工業組合  
〒461-0001 名古屋市東区泉一丁目20番12号  
メディアージュ愛知1階  
TEL (052) 962-5771  
FAX (052) 951-0569

◆ホームページアドレス <https://www.ai-in-ko.or.jp/>  
◆E-mailアドレス [jimukyoku@ai-in-ko.or.jp](mailto:jimukyoku@ai-in-ko.or.jp)



# 美しさ・誠実・挑戦

お客様に企画、デザインを通し、  
真の感動を提供出来る様、  
常に進化し続ける企業を目指します。

グラフィックデザイン	Graphic design
ウェブデザイン	Web design
セールスプロモーションデザイン	Sales promotion design
エディトリアルデザイン	Editorial design
アドバタイジングデザイン	Advertising design
オンデマンドプリンティング	On-demand printing

**adWISE**

株式会社 アドワイズ

〒451-0031 名古屋市西区城西3丁目21-12 サンシャイン浄心南601

TEL 052-528-1070 FAX 052-528-1071 E-mail: ad-wise@ad-wise.biz http://www.ad-wise.biz/



多言語に対応した  
デジタルブックを簡単に作成  
手軽に配信・快適に閲覧



MORISAWAは、日本障がい者スポーツ協会を応援しています

多言語ユニバーサル情報配信ツール

**MC Catalog+**

エムシー カタログ プラス

あらゆる紙媒体をデジタル化し、  
スマートフォンやタブレット端末に  
手軽に配信するサービスです。

詳しくは

[www.morisawa.co.jp](http://www.morisawa.co.jp)

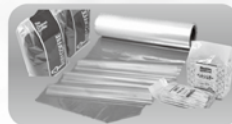
●記載されている会社名・商品はそれぞれ各社の登録商標または商標です。  
●本仕様は、予告なく変更する場合があります。

**Axuas**

印刷用紙は、紙営業本部 TEL (052)220-5511  
紙のプロフェッショナルとして  
「最適」をご提案いたします。



パッケージは、包材営業部 TEL (052)220-5507  
皆様の「包む」を  
サポートいたします。



LED 照明は、開発事業部 TEL (052)220-5518  
地球に優しい  
「LED照明」を中心に省エネ化の  
お手伝いをいたします。



**株式会社 AXUAS**

〒460-0008 名古屋市中区栄一丁目25番35号 <http://www.axuas.jp>

**heart**

人から人へ心を伝える ハート紙製品



グリーン購入法適合封筒・環境配慮型製品  
名刺・封筒・はがき・カード・賞状・カレンダー

デザイン作成・企画提案から印刷・納品までトータルにサポート  
官公庁・企業様、ユーザー様など幅広くご利用いただいております

**ハート株式会社**

URL : [www.heart-group.co.jp](http://www.heart-group.co.jp)



10530027(04) FSC® C015685

ISO 14001

ISO 9001

# 封筒フィーダ搭載で連続印刷可能！ imagePRESS 封筒搬送ユニット

■封筒を補充する際のロスタイムがなくプリンターの性能を最大限に引き出します！

■軽オフの更新時にご検討ください。



**KING** キングコーポレーション

CORPORATION  
〒460-0002 名古屋市中区丸の内3丁目7番23号  
TEL:052-961-7661 FAX:052-961-7662

キング封筒



ロマンと効率  
輝く企業へ

**KOBUNDO**

## PRODUCTS

### フィニッシングソリューション KBD MOLLシステム

FOLDER/GLUER/INSERTING/TAPING

KBD MOLLシステムは、製袋機、グルーシステム、紙折機の機能を統合して、パッケージ等の型紙を自動で製造するユニットシステムです。



### デジタル制御高精度シートカッター KBD Value Sheeter I400

KBDバリューシーター1400は、最新の先端技術を採用し、高速で安定した断裁を可能にするシートカッターです。



オートフィードダイカッター

### KBD Diginukky500

デジタル印刷のフィニッシングに  
最適な新設計のダイカッター登場！



オフィスのPOD横に設置が可能です。100V電源で稼働できるので設置場所を選びません。イーザーオペレーションでオフィス内での運用が可能になります。



印刷機材の総合商社  
株式会社

**光文堂**

本店/〒460-0022 名古屋市中区金山二丁目15番18号 TEL 052(331)4111(代)  
支社/東京 支店/東北・静岡・大阪・金沢・北九州・福岡 営業所/北海道・青森  
山形・千葉・山梨・沼津・浜松・岐阜・福井・富山・京都・山口・大分・熊本・沖縄